

1992 神戸学院大学 Memorial Hall Green Festival

Programme:

- 4月18日** (土) —14:30— **大阪フィルハーモニー交響楽団 コンサート**
指揮：本名徹二 ピアノ：尾高道子 ソプラノ：根津信子
今秋三回目のヨーロッパ公演を控えています。元氣一杯の大阪フィルによる恒例のオープニング。再度の海外研修を経てますますその才能に磨きがかかる新鋭の樺に、滋味あふれるピアノ、ウィーン仕込みのソプラノが加わる豪華版。モーツァルト「フィガロの結婚」序曲、モテット「踊れ、喜べ、汝幸いなる魂よ」K.165、「ピアノと管弦楽のためのロンド」K.382、演奏会用アリア「どうしてあなたが忘れられよう」K.505、ベートーヴェン「交響曲第7番」という多彩なプログラム。
- 4月25日** (土) —14:00— **長岡輝子 朗読の会**
ピアノ：尾高惇忠 チェロ：倉田澄子
今年84才を迎える新劇界の大御所がライフワークとする故郷の先輩宮沢賢治作品の朗読。甥のピアノと姪のチェロに乗せて、最もおなじみの作品「セロ弾きのゴーシュ」を披露。後半はエルガー「愛の挨拶」、フォーレ「エレジー」、サン＝サーンス「白鳥」のチェロ小品名曲集のあと、長岡さんがお話をまじえていくつかのすばらしい詩を読みます。必ずや皆様を深い感動に誘う聴き逃せない会です。
- 5月27日** (水) —15:00— **狂言をたのしむ会**
善竹幸四郎・茂山忠三郎・善竹孝夫・善竹忠重 他
演目：『佐渡狐』 『縄綱』
古典だけと新しくって面白い、そんな狂言の魅力を十分に楽しんでいただきます。今年は、昨年度大阪文化祭賞受賞の『佐渡狐』を幸四郎・孝夫両師のコンビで再演。あわせて、これも80年度の同賞に輝く忠三郎師の『縄綱』と、名手たちがそれぞれ得意の演目で競演します。
- 6月1日** (月) —15:00— **林泉 弦楽四重奏団+鈴木豊人(クラリネット)、古川知子(ピアノ)のアンサンブル**
着実な活動で高い評価を受けている四重奏団に管楽器の名手、新境著しいピアノが加わる変化に富んだプログラム。シューベルト「四重奏曲(断章)D.703」、モーツァルト「クラリネット五重奏曲」、シューベルト「ピアノ五重奏曲(鱒)」による室内楽の午後。
- 6月10日** (水) —14:30— **小林美恵 ヴァイオリン・リサイタル**
ピアノ：藤井一興
一昨年、東京芸大を出た翌年に難関ロン・ティボー国際コンクールで日本人として初の優勝に輝き、将来の日本ヴァイオリン界を背負う逸材。国際コンクールに再々上位入賞を誇るピアニストとのコンビで、ヴァイオリン・ソナタの中でも屈指の名曲であるフランクとドビュッシーを中心としたプログラムは一聴の価値あるものです。
- 7月8日** (水) —16:00— **仲道郁代 ピアノ・リサイタル**
数々の国際コンクール入賞歴を持ち、現在活躍中の日本の若手ピアニストの中でも、最も高い実力と人気を誇る。メンデルスゾーン「前奏曲とフーガ」ホ短調、シューベルト「即興曲」作品90全4曲、ショパン「夜想曲」作品62-1、62-2、「ソナタ第3番」というすばらしいプログラムで、その情熱的な演奏をお楽しみ下さい。

- お申し込み方法……………入場ご希望の方は、往復ハガキに公演名、(一枚につき一公演)、ご住所、お名前をお書きのうえ、お申し込みください。一枚のハガキでお二人まで入場できます。入場は無料。
- お問い合わせお申し込み先……………締め切りは各公演日の2週間前になります。なお、ご希望者が多数の場合は抽選させていただきます。
〒651-21 神戸市西区伊川谷町有瀬518 神戸学院大学 グリーンフェスティバル係
電話 078-974-1551(代表)

会場/神戸学院大学メモリアルホール(9号館)

主催/神戸学院大学